
折原臨也に愛されるなんて御免です

0 . 5 %

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

折原臨也に愛されるなんて御免です

【Nコード】

N4881Y

【作者名】

0.5%

【あらすじ】

舞台は来神高校。入学したての折原臨也と平和島静雄の目の前に、一人の少女が現れた。『在原リン子』と名乗るその少女は、男女の体格差を省けば、臨也の双子かと思うほどそっくりだった。リン子曰く、「私は折原臨也の『裏』の存在だ」らしい。始めは信じられなかった二人だが、彼女の行動は、まさに臨也とは正反対だったのだ。そして、彼女の存在を確信付けるものは、本当に臨也の裏だった。

私は人間が大嫌いだから、愛されるなんて御免だよ」

奇妙な存在の少女と、犬

猿の仲である少年たちの奇妙な物語！

はじめに。

折原臨也は人間を愛している。

欲にまみれて、自分勝手に、同じようなことを繰り返して学習しない生き物を、彼は愛している。

それは、恐らく純真なものではないだろう。どちらかといえば、歪んだものだ。

まあ、本人は愛していると言っているのだからそうなのだろう。

しかし、そんな人間愛を叫ぶ彼にも、嫌いな人間がいるのだ。

標識を片手で引っかく。車を蹴り転がす。自販機を投げる。ナイフが刺さらない。

彼が嫌いなのは、平和島静雄を筆頭とした規格外な人間だった。いや、折原臨也の中では、平和島静雄は『化け物』らしい。

常識外れで、理屈にあてはまらなくて、予想外で。

折原臨也は、実の双子の妹たちも苦手だった。

さて。

人間である折原臨也は自分のことも愛しているのだろうか？
たぶん、愛してはいるだろう。自分も人間なのだ。愛さなくてどうする。

ではもし、『裏の自分』が目の前に現れたら、彼はそれを愛せるだろうか？

常識外れで、理屈にあてはまらなくて、予想外で。
そして、人間が大嫌いな自分を。

はじめに。(後書き)

ども、0.5%です(´・_・`)

今回でデュラの小説は2作目です。今回の作品は、もう1作の連載が終わるまでは息抜き程度で連載していきたいと思いますが、更新はカメさんペースだと思いますが、まあできたら二週間に一度か二度は更新したいと思います。

では、今作もよろしく願います！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4881y/>

折原臨也に愛されるなんて御免です

2011年11月17日19時17分発行